

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。充分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に取除いてから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石膏ボード、ケイ酸カルシウム板などは避けてください。

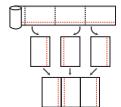
② フィルム表面の傷付き注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、傷が付きますのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキーヤーで圧着してください。硬いもの(やわらかい布を巻かないスキーヤーなど)で圧着すると、フィルム表面を傷付ける場合があります。スキーヤーに巻いたやわらかい布が摩擦したり汚れが付着した場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かな傷やムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、細かい傷が目立ちやすくなります。

シリーズ名	代表的な注意事項
Matte (品番末尾にMTがつくもの) AE-MT DW-MT ME-MT NU-MT PS-MT PW-MT ST-MT SU-MT VM-MT	① 基材表面の平滑性注意 (ME-MT、VM-MTのみ) ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意 ④ 重ね貼り注意 (NU-MT全品番、AE-1928MT、1959MTのみ) ・艶消しの風合いを出すために表面に特殊コーティングを使用しており、構成や色柄によって取り扱いが異なりますので、以下の点にご確認ください。 ・他のシリーズと比べ、艶を抑えているため、突き付けジョイントの開きが目立つことがありますのでご注意ください。 ・他のシリーズと比べ、濃色では傷、淡色では汚れが目立つ場合があります。特に単色 (ME-MT、PS-MT、VM-MT) では傷や汚れが目立ちやすいため、頻繁に人の手が触れる箇所でのご使用はご注意ください。実際の傷や汚れの程度は事前にサンプルを入手してご確認ください。但し、下記の要領でメンテナンスすることで回復しやすくなります。 傷：ある程度の傷は時間とともに復元し、更にスコッチ・ブライト™ マイクロファイバークロスで水拭きすると短期間で復元します。但し、硬い物などで表面の特殊コーティングが損傷すると復元いたしませんのでお取扱いにご確認ください。 汚れ：油脂汚れなど頑固な汚れが付着した場合は、スコッチ・ブライト™ マイクロファイバークロスに3M™ クリーナー 20 (IPA：イソプロピルアルコール) を十分に湿らせて拭取ることで回復する傾向にあります。フィルム表面に直接吹きかけると跡になって見える場合があります。特に、濃色柄では白っぽく跡が目立つ傾向にあるため、ご使用はお控えください。 ・① 3次元曲面への施工はご注意ください。過度の加熱により表面の特殊コーティングが変色・変質する場合があります。 ・多選定時及び施工時の取り扱いについて、特に以下の点にご確認ください。 -物が衝突する箇所、表面に衝撃が加わりやすい箇所でのご使用はご注意ください。 -ME-MT、PS-MT、VM-MTシリーズは点状の光沢違いが見られる場合がありますので、視線が特に届きやすい環境などでご使用になる場合はご注意ください。 -施工時のスキーヤーなどの圧力で白い押し跡のように見える場合がありますが、上記の要領で対応してください。 -入隅や突合せなどで布を巻かずにスキーヤーを使用する場合は、スキーヤーに3M™ PTFE テープ5480、5490を巻いて使用してください。 -また、Dボード工法等において保管及び輸送時にフィルム表面同士を重ね合わせると傷が付く場合がありますのでご注意ください。 -VM-MTシリーズは他のシリーズに比べて裂け易いのでご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合に注意が必要です。切り込みがきっかけとなり裂けてしまうことがあります。その他にVMシリーズのご注意もご確認ください。
AE	④ 重ね貼り注意 (AE-1956、1957のみ)
AM	① 基材表面の平滑性注意 ③ 施工後の照明環境注意 ④ 重ね貼り注意 (AM-1696、1700のみ) ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 (AM-1720のみ) ・シートを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にもラジが生じることがあります。① 3次元曲面へ施工の際はご注意ください。 ・端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材はポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコン系は不具合を生じることがあるため推奨しません。 ・貼り直しなどの作業は接着剤とフィルムの間を剥離を起こしやすいので避けてください。 ・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分にお気をつけください。 ・圧着に特にご注意ください。施工時は目安として12℃以上の施工環境で圧着してください。温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムが膨れる場合があります。12℃を下回る際には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げて圧着してください。その後、温風ヒーターなどでフィルム表面を温め気泡が生じる場合は、再度十分に圧着してください。
BW	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 ・フィルムに荷重がかかると、押し跡がつくことがありますのでご注意ください。 ・① 3次元曲面へ施工の際はご注意ください。 ・光の当たる角度によって僅かな光沢むらが発生することがありますので、隣合わせになるフィルムは同一エッジに合わせてください。 ・多がある品番については以下の点に特にご注意ください。 -表面のエンボス加工を傷付けないよう②フィルム表面の傷付き注意をご確認ください。 -入隅や突合せなどで布を巻かずにスキーヤーを使用する場合は、スキーヤーに3M™ PTFE テープ5480、5490を巻いて使用してください。 -また、Dボード工法等において保管及び輸送時にフィルム同士を重ね合わせると傷が付く場合がありますのでご注意ください。
CA	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ④ 重ね貼り注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 ・フィルムに荷重がかかると押し跡がつくことがありますのでご注意ください。
CH	① 基材表面の平滑性注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 (CH-2116~2118のみ)
CN	—
ET	① 基材表面の平滑性注意 ・見る角度、光の当たる角度、貼付下地の形状などによって、色味が変わる特徴をもった製品です。 ・他の製品よりも切断面が目立つ場合があります。 ・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分ご注意ください。
FA	—



④ 重ね貼り注意

重ね貼りができません。

⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意

表面エンボスの周期性が柄癖のように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。



製品説明書
取扱説明書
技術資料

シリーズ名	代表的な注意事項
FE	④ 重ね貼り注意 (FE-801, 804, 813のみ) ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 <ul style="list-style-type: none"> ● 3次元曲面には施工しないでください。また、貼り剥がしや、エッジ部の施工、冬場の施工時には注意してください。過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。
FW、FW-H	④ 重ね貼り注意 (FW-1757のみ)
HG	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外、高温多湿な場所、収縮する基材 (MDF など)、● 3次元曲面には施工しないでください。 ・ 突き合わせ貼りの際、突き合わせ部が線状に目立つことがあります。事前にご確認のうえ施工されるか目地取りをしてください。 ・ フィルム表面の指紋などの汚れは高光沢のため目立ちますが、布で乾拭きまたは水拭きすれば除去できます。 ・ フィルムに伸縮性がないので、ひずみが生じたりシワを伸ばして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れてくる場合がありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。 ・ 貼り剥がし作業はフィルムに折れジワが発生しますので避けてください。 ・ 曲げシロは6mm以上とってください。それより短い場合、施工後に浮いてくる可能性があります。
HS	—
LE	② フィルム表面の傷付き注意 (LE-1551, 1552のみ) ③ 施工後の照明環境注意 (LE-1171のみ) ④ 重ね貼り注意 (LE-1104～1106, 1108, 1109のみ) ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ LE-1552は● 3次元曲面貼りなどで過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。
LW	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ フィルムに荷重がかかると、押し跡がつくことがありますのでご注意ください。
LZ	—
ME	① 基材表面の平滑性注意
MW	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意
NU	③ 施工後の照明環境注意 (NU-1795のみ) ④ 重ね貼り注意 (NU-1795, 2001～2003, 2005～2014を除く) ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意 (NU-1795のみ) <ul style="list-style-type: none"> ・ ● 3次元曲面へ施工の際はご注意ください (NU-1795を除く)。
PA	① 基材表面の平滑性注意
PC	—
PG	—
PS	② フィルム表面の傷付き注意 (PS-1183のみ) ③ 施工後の照明環境注意 (PS-1183のみ) <ul style="list-style-type: none"> ・ PS-1183は艶消しの風合いを出すため表面に特殊樹脂を使用していますので、他のシリーズに比べ傷、耐汚染性が劣ります。頻繁に人の手が触れる用途、飲食店でのご採用はお控えください。また、施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に筋状のムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、目立ちやすくなります。
PT	—
RS	① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ④ 重ね貼り注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ フィルムに荷重がかかると、押し跡がつくことがありますのでご注意ください。 ・ ● 3次元曲面に施工する際はご注意ください。施工を避けていただく製品です。 ・ 付着した汚れはすみやかに除去してください。エンボス溝に汚れが入り込み落ちにくくなります。清掃は3M™ ダイノック™ フィルムの清掃方法に従ってください (P.9 「メンテナンス・清掃方法」ご参照)。
RT	—
SE	② フィルム表面の傷付き注意

シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意 (製品全般に関する注意事項は、P.9～10をご確認ください。)

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。充分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に除去してから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石膏ボード、ケイ酸カルシウム板などは避けてください。

② フィルム表面の傷付き注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、傷が付きますのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキージーで圧着してください。硬いもの(やわらかい布を巻かないスキージーなど)で圧着すると、フィルム表面を傷付ける場合があります。スキージーに巻いたやわらかい布が摩擦したり汚れが付着した場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かな傷やムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、細かい傷が目立ちやすくなります。

シリーズ名	代表的な注意事項
SI	<p>③ 施工後の照明環境注意 ⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SIシリーズは特に裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。天地の方向を合わせない場合、施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に筋状のムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、目立ちやすくなります。
ST	—
TE	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フィルムに荷重がかかると押し跡がつくことがありますのでご注意ください。
VM	<p>① 基材表面の平滑性注意 ③ 施工後の照明環境注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シートを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にもムラが生じることがあります。④ 3次元曲面へ施工の際はご注意ください。 ・ 貼り直しなどの作業は接着剤とフィルムの上に剥離を起こしやすいので避けてください。 ・ 圧着に特にご注意ください。施工時は目安として12℃以上の施工環境で圧着してください。温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムが膨れる場合があります。12℃を下回る際には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げて圧着してください。その後、温風ヒーターなどでフィルム表面を温め気泡が生じる場合は、再度十分に圧着してください。 ・ 端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材は変性シリコン系ノンブリードタイプまたはポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコン系は不具合を生じることがあるため推奨しません。
WG、WG-H	<ul style="list-style-type: none"> ・ WG-1070は色の濃淡により、横方向で柄が筋状に見えるため、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えないことがありますのでご注意ください。 ・ ワイピング木目(WG-156, WG-157, WG-159, WG-166, WG-1070, WG-1812)の製品はフィルム表面に特殊な加工をしていますので、施工の際は突き合わせ貼りを避け、目透かし貼りもしくは目地棒をご使用ください。
WG-GN	<p>① 基材表面の平滑性注意 ② フィルム表面の傷付き注意 ③ 施工後の照明環境注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工後のフィルム表面の清掃はやわらかい布を用いて、水拭きまたは中性洗剤を使用してください。硬い布や有機溶剤は表面を傷付けたり変質したりする場合がありますので、使用しないでください。

Functional Products

シリーズ名	代表的な注意事項
抗ウイルス・抗菌 (品番末尾に PVがつくもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品表面を強くこすった場合、白っぽく変色することがありますのでご注意ください。変色が軽微な場合、柔らかい布などで乾拭きすると目立たなくなります。 ・ 表面が汚れていると抗ウイルス・抗菌効果が発揮しません。日常の清掃は水拭きもしくは市販の中性洗剤をご使用ください。消毒が必要な場合は次亜塩素酸ナトリウムもしくは塩化ベンザルコニウムを含有する消毒液をご使用ください。エタノールでの消毒は、製品の外観が変化する場合がありますので推奨しません。
AR (品番末尾に ARがつくもの)	<p>① 基材表面の平滑性注意 (CH-AR, ME-AR, PA-ARのみ) ③ 施工後の照明環境注意 (AE-AR, FA-AR, FW-AR, FW-HAR, WG-ARのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐摩耗性を向上した製品ですが、刃物など鋭利なものや強い衝撃では傷が付く場合があります。 ・ 見る角度や光の当たり方によっては柄のようなものが見える場合があります。 ・ フィルム表面に爪やスキージーなどが擦れると、付着した汚れが白い傷のように見える場合があります。水拭きすることで汚れを清掃することが可能です。 ・ 硬い布や有機溶剤は表面を傷付けたり変質させる場合があるので使用しないでください。特にシンナー拭きによる白濁が目立つことがあるため、十分にご注意ください。 ・ 本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルム表面をサンディングしてから3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。 ・ ブラックボード用途についての注意事項は、P.15のホワイトボードシリーズのその他の欄をご確認ください。 ・ 製品の表面は砥粒のような細かい粒に覆われていますので、物が接触すると表面を削り取り損傷を与えることがあります。

④ 重ね貼り注意

重ね貼りができません。

⑤ 大面積施工時のエンボス周期性注意

表面エンボスの周期性が柄癖のように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。



製品説明書
取扱説明書
技術資料

シリーズ名	代表的な注意事項
<p>DG (品番末尾にDGがつくもの)</p>	<p>④ 重ね貼り注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法に関してはP.29を参照してください。 ・ 3M™ ダイノック™ フィルムの柄面(意匠面)に粘着材があり、ガラスに貼り付けて、ガラス越しに意匠を見せる内装用の製品です。 ・ 内装用途として設計されており、直射日光が当たる箇所や屋外および屋外に面した部位にはお勧めしていません。 ・ 品番により隠ぺい性が異なり、フィルム越しに壁面が見える場合やフィルムのムラが見える場合があります。背後が明るい箇所や、側面から光が背後に入る場合などでは、事前に隠ぺい性が十分か確認してください。 ・ 突き付け貼りを行う際は柄合わせが難しいので、事前に柄合わせのずれが許容できるか確認してください。または突き付け貼りを避け、ガラスの割り付けを変更することをお勧めします。 ・ ガラスへの貼り付けを目的とした製品ですが、JIS A 5759 : 2016 に定める飛散防止機能はありません。 ・ アクリルやポリカーボネートなどのプラスチックに貼付可能です。この場合には不燃認定に適合しません。 ・ 頻繁に水分と接触する場所(水中、温泉、サウナ、温水プールなど)での使用はお勧めしません。 ・ 常時高温になる環境や、密閉空間など熱がこもりやすい場所への施工は出来ません。 ・ 接着力が強く剥離しにくいので、ガラス以外の基材に施工した場合に貼り替えが困難となります。貼り替えが必要な部位への施工はしないでください。 ・ ロットにより色柄に多少の差異が生じることがありますので、同一面には同一ロットを使用してください。
<p>DPF-100</p>	<p>④ 重ね貼り注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不燃認定は取得していません。 ・ 貼り付け下地は機能製品およびMTシリーズを除く3M™ ダイノック™ フィルムのみとなりますので、ご注意ください。 ・ このフィルムを貼ると下地のフィルムの色・質感が違って見えます。事前にご確認ください。 ・ 表面エンボスの形状によっては貼り付けに適さないシリーズがあります。またエンボスのくぼみには密着しません。 ・ 空気抜けが均一にできないので、むらになって見える場合があります。 ・ 下地のフィルムが濃色の場合には、空気抜けのむらが見えやすい場合があります。 ・ ウレタン製フィルムに感圧型接着剤が塗布してありますので、ライナー紙を剥がして圧着してください。 ・ 3M™ ダイノック™ フィルムに直接貼り付けてください。その場合、再剥離が可能です(プライマーは塗布しないでください)。 ・ 通常の3M™ ダイノック™ フィルムよりも伸びやすく、施工性が異なります。事前にご確認ください。 ・ 表面どうしが密着しやすいのでご注意ください。
<p>DR (品番末尾にDRがつくもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品は玄関ドアのリフォーム専用が開発された製品です。DRシリーズの粘着剤にはエア抜き溝がありません。 ・ 貼付けは、塗装鋼板、塩ビ鋼板、アルミ板の扉に行ってください。 ・ 直接日光や雨が当たる木質系のドアに施工した場合、膨れが発生することがありますので、施工しないでください。 ・ 施工後の下地の腐食は、フィルムでは防ぐ事はできません。 ・ 錆びて表面の鋼板が腐食しているものや、鋼板内部から水分が出てきているような扉には施工しないでください。 ・ プレス形状の扉は、その形状によって施工できない場合があります。施工可能かどうか当社もしくは施工店にあらかじめご確認ください。
<p>EX (品番末尾にEXがつくもの)</p>	<p>① 基材表面の平滑性注意 (ME-EX, PA-EXのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外耐候性に優れる製品ですが、傾斜面や水平面などでご使用の場合は、フィルムの劣化が早まる場合があります。また、アルミニウム以外の下地での使用の場合も劣化が早まる場合があります。 ・ ① 3次元曲面への施工の際はご注意ください。フィルムに伸縮性がないのでひずみがかかったりシワを伸ばして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れてくる場合がありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。 ・ 低温環境では、折れジワや裂け、フィルムの折曲げ部分の白化が発生しやすくなります。屋外で施工の場合、作業環境にご留意ください。 ・ 他のシリーズに比べ、フィルムが裂けやすく、また折れジワが付きやすいのでご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合に注意が必要です。切り込みがきっかけとなりフィルムが裂けてしまうことがあります。 ・ EXシリーズの表面はフッ素樹脂加工されており本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルムの表面をサンディングしてから3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。フィルム表面にシーリング材を使用する場合は、フィルム表面をサンディングし、シーリング材の使用法に従い使用してください。 ・ 施工の詳細とその他の注意事項については、取扱説明書をご参照ください。
<p>FLS</p>	<p>④ 重ね貼り注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浴室床専用の製品です。土足で使用する床面には使用できません。 ・ エフロレシヤ(白華)が発生している浴室は、水の染み出しが多く接着不良を生じる場合がありますので施工しないでください。 ・ ① 3次元曲面へ施工の際はご注意ください。 ・ その他の製品と異なり、本製品に粘着剤が付いておりません。別途接着剤を用意してください。 ・ 施工の詳細とその他の注意事項については製品説明書・取扱説明書をご参照ください。
<p>IL</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡散反射を利用するため、狭い空間ほど効果が期待できます。その反面、大空間のような場所では効果が小さくなる場合があります。 ・ 条件や環境により、施工空間の明るさ感および床面照度の向上効果の表れ方は異なります。